



パワハラのない職場を！メンバーに優しいチームこそ力を発揮 求められるのは鬼軍曹ではなく優しいダルビッシュ



ダルビッシュ有36歳が惜しみなく後輩にアドバイスするワケ

異動の季節です。職種によっては3月末から異動が始まっています。すでに新しい職場に異動し、新たな業務にチャレンジされている方も多いと思います。希望の異動でも、異動はストレスの原因になります。なぜなら異動によって仕事の内容（質と量）、人間関係が大きく変わるからです。この二つは、「仕事の失敗、責任の発生」と共に厚労省の調査でも職場の3大ストレスに指摘されています。

ストレスのかかる異動時に重要なのが、ただ働きをさせないことです。今時、「仕事に慣れていないのに超勤出すの」とか、「早く来て情報収集しなさい」などという「指導」をしている職場はないと思いたいのですが。これらは「指導」ではなくパワハラです。慣れていない業務ですから、時間内に終わらないこともあるでしょう。これを、慣れていないことを理由に超過勤務させないなどあってはいけません。鬼軍曹的な指導は、短期的には成果を上げることがあるかもしれませんが、長期的にはチームを弱くします。求められているのは鬼軍曹ではなくダルビッシュ的指導者です。職場の雰囲気気になる方は、この新聞下段のあなたの職場の健康度チェックでチェックしてみましょう。

（写真は、Number Web記事「ダルビッシュ有が惜しみなく後輩にアドバイスするワケ」より）

現場の声を方針に！ 都立病院労組本部委員募集 ぜひ立候補を



本部委員とは、都立病院労組執行部と共に、組合の運動方針を決める役割を果たします。病院支部の時は支部委員でした。独法化以降、私たちは自分たちの力で労働条件を独法本部と交渉して決めていかなければなりません。夜勤回数、年休取得、そして物価高に直面する今、給与のアップを実感するなど課題は山積です。ぜひ本部委員になり、現場の声を届けてください。

発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は？ いますぐチェック →



LINE@ 都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です

